

| 令和3年度 あさひ野小学校アクションプラン | |
|-----------------------|--|
| 重点項目 | 学習指導 |
| 重点課題 | 基礎・基本の確実な定着 |
| 現 状 | <p>昨年度は「目当ての時間や内容で家庭学習に取り組んだ」の自己評価でA・B評価の割合は86%であった。また、「あさひ野っ子生活カード」の取組み期間には、ほぼ90%を超えていた。「家庭学習のてびき」や「あさひ野っ子学びのすすめ」を配付し家庭学習の具体的な内容を示したり、保護者が来校する時期に合わせて見本となる自主学習ノートを掲示したりして、家庭学習に取り組むことの大切さを意識付けてきたことにより継続して家庭学習に取り組む子供が増えてきている。</p> <p>自分のたてた学習の目当てを達成できたと感じている子供は多いが、学力調査等の結果からは、国語科・算数科ともに基礎的・基本的な力に学力の二極化が見られる。チャレンジテストの合格ラインである80点以上は、ほぼ全員が到達しているが、中には何度も練習を重ねることでようやく合格に達する子供もいる。</p> <p>今年度は、基礎・基本の定着に向けて学校と家庭とで反復学習を行うことで、「できる」「分かる」を実感しながら意欲的に学習に取り組むことができるようにしたい。</p> |
| 達成目標 | ○校内漢字・計算大会およびチャレンジテストにおいて90点以上を達成した児童が80%以上になるようにする。 |
| 方 策 | <p>① 朝の活動において「10分間学習」に取り組む。曜日ごとに活動を決め、漢字・計算・音読等の基礎・基本を反復し、定着を図るようにする。</p> <p>② 図書委員会を中心とした必読書や多読賞の取組をしたり、読み聞かせを充実したりして、読書を推進する。</p> <p>③ 家庭学習のてびき、自主学習のメニューを各学級で工夫し、家庭学習の内容の充実を図る。また、「あさひ野っ子生活カード」を継続し、家庭学習が習慣化できるようにする。(家庭との連携)</p> |